

News Letter

2004年12月24日

国際公共経済学会

事務局発行

国際公共経済学会 News Letter No.50

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

東洋大学経済学部 松原聡研究室内

Tel l& Fax 03-3945-7415

E-mail:japan@ciriec.com

1. 第19回研究大会報告

今年で、国際公共経済学会の研究大会は19回を迎えることとなりました。今大会は、本会副会長の塩見英治氏が大会実行委員長を務め、中央大学多摩校舎で、12月4(土)5(日)日の二日にわたって開催されました。4日には、猪口孝氏(東京大学)から、「アジアの社会資本～10カ国アジアバロメーターによる実証分析」と題する特別講演が行われ、引き続いて、大会テーマ「社会経済システムの安定と制度設計」によるシンポジウムが開催されました。

このシンポジウムは、貝塚啓明氏(中央大学 総合開発機構)が基調講演を行い、その後、大淵寛氏(中央大学)、土屋正忠氏(武蔵野市市長)、白石真澄氏(東洋大学)らのパネリストを交えて、活発な議論が交わされました。なお、シンポジウムは横山彰氏(中央大学)がコーディネータを務めました。

5日には、公共経済部門の「政策の評価と設計」とするシンポジウムが開催され、桜田桂氏が「会計検査の実際と政策評価」とする基調講演を行い、引き続いて、並河信乃氏(行革国民会議)、田中廣滋氏(中央大学)、松原聡(東洋大学)らと議論が交わされました。なお、本会副会長、三浦宏一氏がコーディネータを務めました。

また、両日にわたって、自由論題、大学院生セッションなど会場を並列して多くの発表が行われました。

開会にあたり、開催校である中央大学の角田邦重学長からご挨拶をいただき、また懇親会では中央大学経済学部の小口好昭学部長からご挨拶をいただきました。この場を借りまして、主催校および塩見英治氏にお礼申し上げます。事務局長 松原聡

2. 第13回学会賞・第5回尾上賞の決定

第13回国際公共経済学会学会賞および第5回尾上賞の審査委員会(森恒夫委員長)が開催され、学会賞・尾上賞が決定し、理事会で承認を得ました。12月5日の総会にて発表されました。

第13回学会賞 該当なし

第5回尾上賞

松原聡(東洋大学)著

『人口減少時代の政策科学』(岩波書店 2004年2月刊)

大嶋茂男(永続経済研究所)著

『持続可能な「社会的経済」への革新』(生活ジャーナル2004年4月刊)

3. 『国際公共経済研究』第16号の投稿募集のお知らせ

学会誌『国際公共経済研究』第16号(2005年9月発行予定)の論文の投稿を募集します。当学会では、学会の水準向上のために、査読制度(レフリー制度)を設けています。下記の要領に沿って論文の投稿をお願いいたします。

執筆希望者は、統一議題、自由議題ともに、1月10日までに所属、氏名、テーマを事務局まで郵送またはメールでお知らせ下さい。

論文の提出締め切りは、3月末です。

(研究大会の報告者は、2月末締め切り)

統一テーマは、「社会経済システムの安定と制度設計」です。

国際公共経済研究 投稿規定

- (1) 本誌は、年1回以上刊行し、その都度論文等をニューズレター等で公募する。
- (2) 投稿は、正会員、および特別会員の法人に所属する者、および編集委員会が適当と認めた者に限り認める。また、研究大会報告者には、投稿をお願いする。
- (3) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、400字詰め原稿用紙で30枚以内とし、図表は原稿用紙相当枚数に換算し、規定枚数に含む。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名を日・英文で明記する。
- (4) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。
- (5) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。
- (6) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。
- (7) 注は文中の肩に(注1)のように記し、論文末尾にまとめる。
- (8) 章・節は、1、2、1) 2) (1) (2)の記号による。
- (9) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。

著書(単独)の場合	執筆者名、[出版年月]『書名』、出版社、 引用ページ
著書(複数)の場合	執筆者名、[出版年月]「論文名」、編集者名、 『書名』、出版社、引用ページ
論文の場合	執筆者名、[出版年月]「論文名」、『雑誌名』、 巻号、引用ページ
- (10) 投稿原稿の採否は、編集委員会の下におかれる論文審査制度に基づいて行う。
- (11) 論文の他、書評、図書紹介等についても投稿を受け付ける。
- (12) 論文等は、本学会の事務局宛、郵送に限り受け付ける。なお、提出原稿は2部、テキストファイル(ワード)のフロッピー(CD)2枚の両方を送付する。

4．2005年度個人会費請求

当学会は、2004年12月1日より新年度に入りました。つきましては、2005年度(2004年12月1日～2005年11月30日)の個人会費6000円を同封しました振込用紙で納入をお願いいたします。なお、2003年度、2004年度未納の方は、併せて納入をお願いいたします。

5．第26回CIRIEC国際大会のお知らせ

次回の第26回国際大会は、2006年9月ごろトルコのイスタンブールで開催されます。詳しいことは、わかり次第お知らせいたします。

6．第20回研究大会のお知らせ

次回の第20回研究大会は、2005年12月初旬に関西学院大学(野村宗訓実行委員長)で開催されます。詳しいことは、次回のNews Letter、ホームページでお知らせします。

7．名簿発行について

2005年度の名簿を作成します。今回のNews Letter送付先住所に変更がある方は、事務局まで至急お知らせください。また、所属の変更がある方もお知らせください。